個別施設計画

策定年月	H31.1

施設名	倉敷児童相談所	所在地	倉敷市美和1－14－31
敷地面積	1,201.65 ㎡	棟数	1 棟（計画記載対象 1 棟） ※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象
延床面積	889.56 ㎡		
設置目的	児童福祉法第12条に基づく児童相談所、 知的障害者福祉法第12条に基づく知的障害者更生相談所(支所)		

【想定される自然災害】

予想震度 6弱　　津波 －　　浸水 1.0m以上2.0m未満

建築規制	市街化区域 近隣商業地域 建ぺい率80% 容積率200%(準防火区域) 第二種住居地域 建ぺい率60% 容積率200%(防火指定なし)

エネルギー使用量（2017年度）	電気	ガス	水道	燃料（ ー ）
	37,069 kwh	6,927 ㎥	688 ㎥	ー ℓ

管理上の特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし 災害対策基本法及び岡山県災害対策本部条例に基づく地方災害対策本部の代替施設（候補）

1 施設内建物の概況

名 称		メイン棟
築年（西暦）		1990 年
構 造		鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積		444.50 ㎡
延床面積		889.56 ㎡
主要な用途（室名等）		執務室 2室（133㎡） 会議室 2室（120㎡） 相談室等 15室（262㎡） 倉庫 2室（ 88㎡）
主要な設備（屋外を含む）		空調設備(冷温水発生機) 給排水設備(給湯器)
利用状況		高
耐震性 ※1		有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	－
	中性化 ※3	－
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況（劣化が進んでいるもの）		該当なし

※1 耐震性有：耐震診断の結果Is値≧0.6（震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い）又はS56.6以降に建築の建物 （S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外）

※2 圧縮強度：13.5N/mm2未満は不適　※3 中性化：築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適　※4 傾斜が有る場合は不適　※5 地盤沈下が有る場合は不適

２．対応方針

（１）施設全体の方針

業務の性質上、単独事務所としての運用が望ましい。また、児童相談所の体制強化を実施するには、現在の執務室では十分な職場環境が保てないため増築を行うとともに、劣化が進んでいる設備等の更新・修繕・改修を行い、使用を継続する。

（２）建物ごとの方針

区分	対応方針
メイン棟	増築を行うとともに、設備等の更新・修繕・改修を実施する。

３．施設全体のスケジュール

（概　要）

増築を行うとともに、劣化が進んでいる設備等について、順次更新等を行う。

（単位：億円）

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
メイン棟	設備等の定期更新 （修繕・改修を含む）									外　壁 照明LED化	
	増築					増　築					

４．概算費用

５. 変更履歴

変更年月	変更内容
R5.2	設備等の定期更新（外壁）のスケジュールを変更
R7.3	メイン棟の設備等の定期更新（照明LED化）を追加